

馬場小室山遺跡フォーラム」第69回ワークショップ

【原動力！パブリック・アーケオロジー2015】

馬場小室山遺跡のパブリック・アーケオロジーからみえてきた現代社会との「かかわり」と未来への新たな挑戦

1. 【南鴻沼遺跡について】： 毒島正明さん達による漆器の採集が漸く陽の目を見ました！

- ・南鴻沼遺跡は毒島正明さん達による1982年刊行の『土曜考古』第5号で全国的に知られるようになりますが、その性格は泥炭層を形成する縄文時代前期から晩期中葉に至る遺物が検出される低湿地遺跡です。その後、2007年刊行の『「環状盛土遺構」研究の現段階—馬場小室山遺跡から展望する縄文時代後晩期の集落と地域—』において台地上の南1号遺跡などとの遺跡群として脚光を浴び、「みぬまっぴ」Vol.4の「縄文沼と縄文塚を探そう編」にも縄文沼として紹介されましたように大変著名な「縄文沼」です。

2. 【ヒスイ製品の流通を考える視点】： それは多摩ニュータウン No.72遺跡のヒスイ研究から始まった！

- ・木島 勉(2015)「6 見附市耳取遺跡出土の攻玉製大珠について」『見附市埋蔵文化財調査報告 第37 耳取遺跡—2011～2014 年度における耳取遺跡確認調査報告—』、見附市教育委員会の最新見解からこれまでの定説を確認すると、「縄文時代中期における硬玉製品については糸魚川産硬玉が糸魚川地方の遺跡で加工されて列島各地に流通し、新潟県内では長岡・栃尾、十日市町周辺により多く出土する傾向がある。栃尾地方に流通した硬玉製品については、これまで長岡経由で運ばれたと考える傾向が強かったが、今回の出土等を参考にすると、当遺跡を経由して刈谷田川流域を栃尾まで運ばれたと考えるべきであろう。」(ゴチック体は引用者)という「製作地一元説」が現在の研究の到達点となるようです。
- ・一方、関東地方でヒスイの原石、剥片、未製品、製品の研究を進め、そして姫川周辺の縄文時代集落における異系統土器から観た移民の分析を踏まえ、上越市山屋敷遺跡が「広域混交集落」となり、秋田県など北奥方面、関東南西部方面などの遠隔地からの移民が想定されます。糸魚川周辺にはヒスイの原石を求めてヒスイ匠の家族が集まる集落が形成されるようです。これを「製作地多元説」と呼びますが、詳細は9/5(土)実施の「翡翠フォーラム in 朝日町」での発表資料(別紙)で解説します。

3. 【「混交玉文化」という視点】： 石製垂飾品の石材とその多様化の組成に観る社会的意義

- ・硬玉大珠だけを崇め奉る現代病に対して「混交玉文化」という概念を用意しました。以前、「三種の貝玉」を立論しましたが、一点豪華主義の装飾品よりも多様な素材を装着する全体豪華主義が好まれるような材質多様性の組み合わせに、交流関係の広さを誇示する風習が導けるように思います。別紙にて解説します。

4. 【「防災・減災考古学」】： 新潟県見附市田井福順寺の試掘確認調査(齋藤瑞穂さんのメールから引用)

- ・これまで地震痕跡は、発掘調査された遺跡での確認が主体であり、主に地盤の悪い低湿地で確認されてきた。しかし、文献資料を読む限りでは、地盤の良い微高地・台地上でも大きな被害が発生しており、それを考古学でどのように把握できるかが喫緊の課題となっている。
- ・文政11年11月12日(1828年12月18日)に発生した三条地震は、震源:北緯37° 6′, 東経138° 9′ (三条市)付近、マグニチュード:6.9と推定されてきた。しかし、近年では、植竹ほか(2005)が、川の流路変更や山崩れの記事に着目して、震源が平野の中央ではなく、東縁にある可能性を指摘し、矢田ほか(2010)は建物損壊率および死亡率の比較から、見附市東山丘陵付近に震源地域を絞り込む。これは、2004年中越地震の震源と隣接している可能性を意味する。
- ・そこで、地盤が良く、しかも被害が大きいと考えられる長岡藩栃尾組椿沢村等6ヶ村のうち、特に倒壊・炎上した記録が残っている見附市田井福順寺で、考古学がどのような災害痕跡を把握しうるかを探ることとした。同寺は遺跡ではないものの、寺域の調査について了承が得られたことから文化財保護法(昭和25年法律第214号)第92条第1項にもとづいて発掘調査を行い、災害痕跡把握の可能性を検討する。
- ★【10/6(火)・7(水)調査参加所見】寺域の立地は台方花輪貝塚と共通する斜面崩落を整地した本堂、及び斜面墓地であるが、隣接する宅地と共に切り土／盛り土の代表的景観である。整地層を除くと丘陵形成自然堆積層と思われ、遺物や人類活動の痕跡は見られない。また、見附市の丘陵上部に堆積している関東ローム層の堆積もない。念のため、丘陵斜面部切通しを観察し、共通する地層であることを確認した。

5. その他、ワイン・アーケオロジーによる情報交換会など： 日程の確保をお願いします。

- ・秩父に学ぶ第70回ワークショップの開催:11/3(火・文化の日) 講師:深田芳行さん
西武池袋線 横瀬駅 10:14着 徒歩にて横瀬町歴史民俗資料館へ。
- ・桜エコ・フェスタ2015への参加:11/29日(日) 於:さいたま市桜環境センター環境啓発施設
井山紘文さんのジオラマと土偶のプラ板制作を通し、県史跡・馬場小室山遺跡をさいたま市民にPRする機会とし、市民団体との交流も図ります。八千代市のイベントと重複しますが、ご支援ください。
- ・さいたまトリエンナーレ2016に向けて馬場小室山遺跡の紹介:2/5(金)

以上